

図書館・美術館の事業と予定



9月22日(日)アルカディアフェスタ2019が開催されました。図書館では、人形劇団ブーク(東京)によるブー吉・チビのオープニングショーに続き、人形劇「がんばれローくん」が公演されました。会場は120名の親子連れで溢れ、子ども達の歓声が終始響きわたり、楽しいひと時を過ごしました。



図書館では、高齢者サービスの一環として図書館ボランティアの皆様と共に出張お話を実施しています。会を通し各地区の皆様とふれあうひと時を大切に、今後更に活動の場を広げていきたいと思っています。

【図書館の予定】

・乳幼児リトミック教室

11月6日(水) 午前10時30分～11時30分

講師：佐野貴子先生/長洞まゆ先生

・乳幼児お話し会 のんたんのへや

11月13・20・27日(水)

午前10時30分～11時30分

・図書館映画会

11月16日(土) 午後3時～4時

「おしりたんてい」を上映します。



【美術館の予定】

11月1日(金)～11月30日(土) 入場無料
「棚町宜弘個展」 ー南部の郷土に魅せられてー

日本画家(日展特選作家)棚町宜弘氏が愛した南部の郷土と、日本、世界を魅了する風景画の数々を多数紹介します。ご近所お誘い合わせご来場ください。

11月20日(水) 県民の日 美術館は入場無料となります



【会期中のイベント】

・写生会：11月17日(日)

午前10時～12時

(持物：絵具セット・色鉛筆・クレヨン・鉛筆など使い慣れた道具) お気軽にご参加ください。

申込先 ☎0556-62-9292 (文化館)

NEW 新着図書



「また明日」 群よう子著
幻冬舎
「また明日」という気持ちを大切に、前向きに生きる人々たちを、昭和30年代から平成の終わりまでの時代背景とともに綴る長篇小説。

「廃墟の白墨」 遠田潤子著
光文社
突然届いた奇妙なモノクロ写真と謎のコメント。廃墟と化したビルに向かう先に待ち構える謎の人物とは。遠田潤子のミステリー小説。



「縁」 小野寺史宜著
講談社
予期せぬ「縁」がそれを救うこともある。疲れたときこそ読みたい一冊。「ROCKER」でポプラ社小説大賞優秀賞を受賞。

「銀河の果ての落とし穴」 エトガル・ケレット著
河出書房新社
世界40か国以上で愛読される語り手の最新短篇集。2019年にサピール賞を受賞。



「2050年の経済覇権」 嶋中雄二著
日本経済新聞出版社
軍勢力・科学技術力、人口、国際収支、交易条件から2050年の世界経済・覇権国を読み解く。

「知られざる皇室」 久能靖著
河出書房新社
皇室ジャーナリストとしての著者の丹念な取材実績から生まれた貴重なドキュメント。

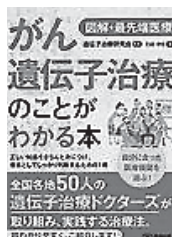
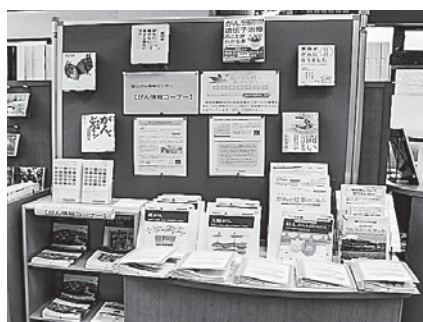


「ほどよい居場所のつくりかた」 菅原圭著
朝日新聞出版
60歳からの人生を自分らしく生きていくための心構えやヒントを紹介する。

「空き家」に困ったら最初に読む本 牧野寿和監修
河出書房新社
空き家は放置するのがいちばんの損。様々な方法で資産として生かす方法を伝える。


【がん情報コーナー】

国立がん研究センターのがん情報ギフトプロジェクト活動の実施に伴い、南部町立図書館（南部館）ホール入口にがん情報コーナーを設置しました。必要な情報を正しく得ていただけるように各種資料を紹介しています。冊子は館内閲覧となりますが、チラシは、自由にお持ち帰りいただけます。また、相談窓口の紹介もありますのでご活用ください。


☆今月の紹介本

「がん遺伝子治療のことがわかる本」 図解・最先端医療

石田幸弘著

遺伝子治療の基本知識、遺伝子治療のメリット・デメリット、治療の実際など、患者としてしっかり判断するための正しい知識が身につきます。

届けるを贈る
届けるを支える
がん情報ギフト



国立研究開発法人
国立がん研究センター
National Cancer Center Japan